

第525回IBC番組審議会

1.開催日時 平成19年11月27日(火)

2.開催場所 デジタルセンター3F Dホール

3.委員の出席 委員数 11名
出席委員 10名
出席委員の氏名
委員長 田代 高章
副委員長 宮澤 徳雄
委 員 伊藤 史典 大村友貴美
河村 泰信 工藤 和彦
熊谷志衣子 小林 英男
小松 務 澤口たまみ

欠席委員の氏名 矢佐 俊幸

会社側出席者

阿部 正樹	代表取締役社長
川島 敬司	常務取締役
菅野 秀樹	取締役テレビ営業局長
柴田 継家	報道局長
川上 隆	ラジオセンター長
鎌田 英樹	テレビ編成局長
大塚 富夫	アナウンス部長

事務局

馬場由紀子	番組審議会事務局長
小笠原 勉	番組審議会事務局次長

4.議 題 IBCラジオスペシャル・朗読劇『朗読カフェの不思議な一日』

5 . 議事の概要

< 委員の主な発言 >

- ・ ラジオで1時間とおして聴くのは、内容を理解する上で少し難しいかな、と感じた。流れるには非常に面白かったし、人として生きる上で大事な部分を再認識させてくれた番組であった。
- ・ 朗読をじっくりラジオで聴くことはなかったので、いい機会になった。喫茶店ならぬ本を出す店という形と、お客とマスターという設定で、ストーリー的にも面白かった。
- ・ 楽しく聴ける番組だった。アナウンサーの朗読はプロの仕事であり、感心しました。アナウンサーは身近なスターで親しみをもって応援している人たちがいます。こうして、皆さんが出かけて行って公演することは、地域の人たちに喜ばれる企画ではないでしょうか。
- ・ 最初からどんどん引き込まれて聴きましたが、初めは気付かなかった人の繋がりが徐々に分かっていく展開で面白く聴きました。
- ・ 全体的に面白く聴きました。底に流れているテーマは、人との触れ合いの大切さ、ちょっとしたきっかけで人の気持ちは変わるというか、少し見方を変えることによって違った世界が見えてくる面白さもあります。
- ・ 7話を通して聴くと、これとこれが関連していた、これが伏線だったというのは見えてきますが、1時間聴いているのは大変だと思う。それぞれの話毎に落ちがあっても面白かったのではないか。

< 社側 >

- ・ 本当は朗読ありき、朗読が主でつなぎのところは重要視していませんでした。パッパッとつないで、変な一日だったな。朗読カフェの別々なお客さんだと思ったら、みんなつながっていて不思議な一日だったねと、そのくらいの発想でした。しかし、ラジオで1時間を状況描写も何もなく聴くのは、ちょっと辛かったと思います。
- ・ 朗読劇とわざわざ「劇」を付けたのは、寸劇を入れたり、ただ読むのではなくて情景を思い浮かばせるために役者を動かしたり、芝居みたいに扮装したり、全部台詞でやるということではなく、あくまでも核は読みの技術、読みの良さを聴いていただく。それに付随して動きを付けて劇的な要素もあるので朗読劇と言っています。